
お姫様だっこシチュ(877設楽×毒舌)

エイノジ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お姫様だっこシチュ（877設楽×毒舌）

【Nコード】

N7968Y

【作者名】

エイノジ

【あらすじ】

877設楽×毒舌

strの嫌がらせ

毒舌が疲労から倒れる

「有吉！？」

収録で『また来週』とカメラに手を振る

その直後、体力も気力も尽き果てて、それでも共演者の前で弱い自分を見せなくなかったらしい有吉はギリギリまで我慢していた限界を越えた時、足元から崩れ落ちた

「有吉！？」

共演者やスタッフがわらわら集まり、倒れた有吉を取り囲む

その時何故か俺は有吉のことを、深い眠りから覚めないお姫様か何かだと勘違いした

「おい有吉、しっかりしろ」

「有吉さん大丈夫ですか！？」

「ん…」

有吉が気を失ったのは一時的なもので、すぐに意識を取り戻した謝りながら、周りの人に支えられて立ち上がるつとする

「俺が楽屋まで運んでやるよ」

「いや、いいです。自分で歩けるんで」

「運んでやるって言ってるでしょ？」

脅迫にも取れる口調で親切心を押し売る

「親切の押し売りかよ…」

あら

俺も今、おんなじこと考えてた

これはもう奇跡だね

「へえ、そんなこと言って良いわけ」

「でもそれだけ毒ずけるんなら元気ですよね、ね？」

「山崎は黙ってて」

空気が悪くなつたのを察した山崎が俺と有吉の間に入って取り持とうとした

が、許すものか

おずおずと退き、周りのスタッフも自分の仕事へと戻り始める

「ふざけんな！テメエ！！降ろせバカ！！」

再び注目を浴びたのは、有吉の叫び声

「設楽さん…？」

流石の山崎も驚きの声しか出なかった

意外と重い有吉を抱え込み、ひよいひよいと歩く

「有吉って、意外と軽いんだね。女の子みたい」

態と逆を言ってやれば、顔を真っ赤にして怒りを買えると思ったのに元氣のない、というか、いつもの覇氣やツンデレのツンは一切感じられない

それ以上に驚いたのは、俺を褒めたこと

「設楽さんが力持ちで男らしいからですよ…」

周りの人間には聞こえていないだろう

ツンデレのデレが出た

「あら嬉しいこと言ってくれるじゃない。今日はどうしちゃった」

「んな訳ねーだろ、バーカ！！」

あーもうこんな辛辣な子、どうして好きになっちゃったんだろう

このまま局を一周してやろう

それまで俺の腕はもつかな

(後書き)

エムプロ！バトン倉庫

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7968y/>

お姫様だっこシチュ(877設楽×毒舌)

2011年11月23日18時48分発行